



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月8日

上場会社名 日本パレットプール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4690 URL <https://www.npp-web.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻 幸則
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)曾我 智樹 (TEL)06(6373)3231
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,016	5.5	516	100.7	667	81.0	435	94.0
2019年3月期	6,650	6.5	257	—	368	284.0	224	372.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	517.89	—	10.2	6.5	7.4
2019年3月期	266.89	—	5.6	3.6	3.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 —百万円 2019年3月期 —百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	10,338	4,475	43.3	5,318.43
2019年3月期	10,354	4,112	39.7	4,886.41

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,475百万円 2019年3月期 4,112百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,242	△2,377	△693	588
2019年3月期	3,010	△2,746	△277	418

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	58	26.2	1.4
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	58	13.5	1.3
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00		17.6	

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,127	1.6	471	△8.8	530	△20.6	334	△23.3	397.04

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	850,000株	2019年3月期	850,000株
2020年3月期	8,520株	2019年3月期	8,465株
2020年3月期	841,524株	2019年3月期	841,547株

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしました。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大による影響について、現時点では、その影響を合理的に見積もることは困難につき、業績予想には織り込んでおりません。そのため、実際の業績は予想数字と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における国内経済は、好調な企業収益を背景に所得・雇用環境が改善し、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中貿易摩擦問題の長期化や英国のEU離脱等の海外の動向、消費税率引き上げ後の消費マインドの冷え込みに加えて、新型コロナウイルス感染症の内外経済に与える影響により、先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境のもとで、当社の「一貫パレチゼーション」の主要顧客である石油化学樹脂関連企業向けレンタルは、顧客側の増産によって取扱枚数が増加したこと等により、通期で前期実績を上回りました。その他一般顧客も、物流の生産性向上の一環として、従来のバラ積みからパレット積みによる輸送に切り替える動きが広がったこと等から、レンタル需要が年間を通じて好調に推移したため、レンタル売上高合計は65億47百万円で前期比3億52百万円(5.7%)の増収となりました。また、その他の扱いの売上高合計も前期実績を上回ったことで、当期の売上高総額は70億16百万円で、前期比3億65百万円(5.5%)の増収となりました。

利益面につきましては、パレット等のレンタル稼働率の向上に加えて、現有貸与資産の有効活用や運用面での効率化等の推進によって、前期と比べて売上総利益率が改善し、営業利益は前期比2億59百万円(100.7%)増の5億16百万円となりました。

さらに、営業外収支において、主に紛失補償金の計上により収支が改善したため、経常利益は6億67百万円で前期比2億98百万円(81.0%)の増益となりました。また、当期純利益は4億35百万円で、前期比2億11百万円(94.0%)の増益となりました。

当期の主たる設備投資としましては、現有資産の有効活用を優先する一方、主に11型・14型の木製パレット、プラスチックパレットを計画的に投入致しました。投資総額は25億13百万円であり、これらに要した資金は自己資金及び借入金により賄いました。

売上高明細書

種類別			前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		対前年比	
			金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	比率 (%)
賃貸	レンタル	パレット	5,691,116	85.6	5,989,734	85.4	298,618	5.2
		その他物流機器	503,893	7.6	557,393	7.9	53,499	10.6
	計	6,195,010	93.1	6,547,128	93.3	352,117	5.7	
販売	割賦	50,688	0.8	13,019	0.2	△37,669	△74.3	
	商品	123,641	1.9	151,619	2.2	27,978	22.6	
	再製品	149,923	2.3	150,496	2.1	572	0.4	
計	324,253	4.9	315,134	4.5	△9,118	△2.8		
利用運送収入			131,336	2.0	137,726	2.0	6,389	4.9
付帯事業収入			—	—	16,551	0.2	16,551	—
合計			6,650,600	100.0	7,016,540	100.0	365,940	5.5

(2) 当期の財政状態の概況

① 財政状態の分析

(流動資産)

当期末における流動資産の残高は、16億62百万円(前期は15億24百万円)となり、1億38百万円増加いたしました。

これは主に売掛金(前期比38百万円減)が減少したものの、現金及び預金(前期比1億70百万円増)及びレンタル未収金(前期比11百万円増)が増加したことによります。

(固定資産)

当期末における固定資産の残高は、86億76百万円(前期は88億29百万円)となり、1億53百万円減少いたしました。

これは主に社用資産(前期比81百万円増)が増加したものの、貸与資産(前期比1億77百万円減)及びソフトウェア(前期比48百万円減)が減少したことによります。

(流動負債)

当期末における流動負債の残高は、33億88百万円(前期は37億60百万円)となり、3億71百万円減少いたしました。

これは主に未払法人税等(前期比74百万円増)及び未払消費税(前期比89百万円増)が増加したものの、買掛金(前期比3億87百万円減)及び1年内返済予定の長期借入金(前期比1億26百万円減)が減少したことによります。

(固定負債)

当期末における固定負債の残高は、24億75百万円(前期は24億81百万円)となり、6百万円減少いたしました。

これは主に長期未払金(前期比1億31百万円増)が増加したものの、長期借入金(前期比1億39百万円減)が減少したことによります。

(純資産)

当期末における純資産の残高は、44億75百万円となり、3億63百万円増加いたしました。

これは主に利益剰余金が増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における現金及び現金同等物は5億88百万円となり1億70百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは税引前当期純利益が6億63百万円になったほか、減価償却費25億70百万円などにより、32億42百万円(前期比7.7%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得などにより23億77百万円の支出(前期比13.4%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金による収入10億円を、長期借入金の返済による支出12億66百万円、割賦債務の返済による支出3億68百万円が上回ったことなどにより、6億93百万円の支出(前期比150.2%減)となりました。

キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	第44期 (2016年3月期)	第45期 (2017年3月期)	第46期 (2018年3月期)	第47期 (2019年3月期)	第48期 (2020年3月期)
自己資本比率(%)	37.8	40.7	39.7	39.7	43.3
時価ベースの自己資本比率(%)	19.1	20.0	20.6	15.8	19.7
債務償還年数	1.9	2.0	1.8	1.6	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	48.6	52.8	70.8	88.6	97.6

*自己資本比率：自己資本／総資産

*時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

*債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

*インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 各指標は、いずれも財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は、期末株式終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

3 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを使用し、有利子負債は貸借対照表に計上の利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の業況につきましては、前期において好調に推移していた石油化学樹脂関連企業のレンタル需要が、顧客側の生産調整や在庫削減の動きによって弱含みで推移する見通しではありますが、一般顧客向けレンタルは、パレットによる輸送需要の高まりを受けて当期も増収基調が継続するものと見込んでおります。他にも、鉄道コンテナ向けのパレタイズ化を推進するなど、新たなレンタル需要の獲得に努めてまいります。

また、これからの成長戦略として、パレットの紛失・滞留防止を図るために開発した、パレットの位置情報管理システム「フクLOW」を当期から順次展開していくとともに、サービス拠点である「デポ」において、レンタルパレットの整備機能の強化や、お客様の自社パレットの洗浄サービスをさらに拡大するための設備投資を積極的に実施していく方針であります。

これにより、2021年3月期の業績見通しにつきましては、売上高71億27百万円(前期比1.6%増)、営業利益4億71百万円(前期比8.8%減)、経常利益5億30百万円(前期比20.6%減)、当期純利益3億34百万円(前期比23.3%減)を計画しております。

但し、このたびの新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響がさらに深刻化・長期化した場合には、当社の業績に影響を与える可能性があります。現時点では、その影響を合理的に見積もることは困難であるため、業績予想には織り込んでおりません。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

現在、当社の業務は日本国内に限定されているため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を注視しながら、IFRS適用の検討を進めていく方針としております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	566,966	737,669
受取手形	18,430	17,749
レンタル未収金	752,391	763,565
売掛金	138,607	100,409
貯蔵品	6,650	3,395
前払費用	17,601	17,605
未収入金	22,090	23,504
その他	3,312	2,898
貸倒引当金	△1,592	△4,336
流動資産合計	1,524,459	1,662,460
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産		
貸与用器具	17,235,075	17,998,863
減価償却累計額	△9,424,311	△10,365,760
貸与用器具(純額)	7,810,764	7,633,103
貸与資産合計	7,810,764	7,633,103
社用資産		
建物	500,753	538,354
減価償却累計額	△366,804	△381,838
建物(純額)	133,949	156,515
構築物	273,935	269,257
減価償却累計額	△253,429	△248,289
構築物(純額)	20,505	20,967
機械及び装置	59,450	69,504
減価償却累計額	△43,660	△47,881
機械及び装置(純額)	15,789	21,623
車両運搬具	27,470	28,205
減価償却累計額	△25,151	△21,241
車両運搬具(純額)	2,318	6,963
工具、器具及び備品	220,040	233,904
減価償却累計額	△206,328	△210,889
工具、器具及び備品(純額)	13,712	23,015
土地	483,126	483,126
建設仮勘定	—	39,136
社用資産合計	669,401	751,348
有形固定資産合計	8,480,165	8,384,452

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	61,105	12,853
その他	3,747	3,729
無形固定資産合計	64,852	16,583
投資その他の資産		
投資有価証券	202,838	178,431
長期前払費用	464	1,323
繰延税金資産	32,489	38,067
差入保証金	48,773	57,663
破産更生債権等	4,592	13,221
貸倒引当金	△4,592	△13,221
投資その他の資産合計	284,566	275,486
固定資産合計	8,829,584	8,676,522
資産合計	10,354,043	10,338,983

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,078,577	691,236
短期借入金	1,030,000	1,030,000
1年内返済予定の長期借入金	1,124,544	998,172
未払金	349,840	328,514
未払法人税等	103,206	177,606
未払消費税等	11,277	100,726
前受金	369	384
預り金	1,343	978
賞与引当金	44,231	48,863
割賦利益繰延	16,859	11,881
流動負債合計	3,760,250	3,388,363
固定負債		
長期借入金	2,031,512	1,891,680
退職給付引当金	18,168	19,321
長期未払金	400,599	532,019
資産除去債務	31,424	32,245
固定負債合計	2,481,704	2,475,266
負債合計	6,241,955	5,863,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,955	767,955
資本剰余金		
資本準備金	486,455	486,455
資本剰余金合計	486,455	486,455
利益剰余金		
利益準備金	96,342	96,342
その他利益剰余金		
別途積立金	1,499,500	1,499,500
繰越利益剰余金	1,257,936	1,634,849
利益剰余金合計	2,853,779	3,230,691
自己株式	△17,642	△17,822
株主資本合計	4,090,546	4,467,279
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,541	8,074
評価・換算差額等合計	21,541	8,074
純資産合計	4,112,088	4,475,353
負債純資産合計	10,354,043	10,338,983

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
賃貸収入	6,195,010	6,547,128
販売収入	324,253	315,134
その他	131,336	154,278
売上高合計	6,650,600	7,016,540
売上原価		
賃貸原価	5,168,516	5,154,646
販売原価	197,165	227,718
その他	108,911	125,469
売上原価合計	5,474,593	5,507,834
売上総利益	1,176,006	1,508,705
割賦販売未実現利益繰入額	11,210	2,874
割賦販売未実現利益戻入額	10,096	7,852
差引売上総利益	1,174,892	1,513,684
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	9,957	16,358
役員報酬	73,464	52,064
従業員給料及び賞与	400,730	433,492
賞与引当金繰入額	44,231	48,863
退職給付引当金繰入額	2,539	2,643
福利厚生費	41,878	47,230
旅費及び交通費	40,440	38,621
賃借料	67,353	68,692
減価償却費	58,757	54,793
租税公課	22,933	26,720
貸倒引当金繰入額	6,006	11,435
その他	149,136	196,066
販売費及び一般管理費合計	917,429	996,984
営業利益又は営業損失(△)	257,463	516,700
営業外収益		
受取利息	16	12
受取配当金	4,863	4,974
紛失補償金	108,561	144,147
廃棄物処分収入	32,091	33,390
その他	321	2,099
営業外収益合計	145,854	184,625
営業外費用		
支払利息	34,388	33,475
営業外費用合計	34,388	33,475
経常利益	368,929	667,849
特別利益		
固定資産売却益	—	1,400
特別利益合計	—	1,400
特別損失		
投資有価証券評価損	9,858	5,527
固定資産除却損	850	—
特別損失合計	10,708	5,527
税引前当期純利益	358,221	663,722

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	127,902	226,914
法人税等調整額	5,714	988
法人税等合計	133,617	227,903
当期純利益	224,604	435,819

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	767,955	486,455	486,455	96,342	1,499,500	1,092,241	2,688,083
当期変動額							
剰余金の配当						△58,908	△58,908
当期純利益						224,604	224,604
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	165,695	165,695
当期末残高	767,955	486,455	486,455	96,342	1,499,500	1,257,936	2,853,779

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△17,615	3,924,878	42,087	42,087	3,966,966
当期変動額					
剰余金の配当		△58,908			△58,908
当期純利益		224,604			224,604
自己株式の取得	△27	△27			△27
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△20,546	△20,546	△20,546
当期変動額合計	△27	165,668	△20,546	△20,546	145,122
当期末残高	△17,642	4,090,546	21,541	21,541	4,112,088

日本パレットプール(株) 2020年3月期 決算短信「日本基準」(非連結)

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	別途積立金	
当期首残高	767,955	486,455	486,455	96,342	1,499,500	1,257,936	2,853,779
当期変動額							
剰余金の配当						△58,907	△58,907
当期純利益						435,819	435,819
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	376,912	376,912
当期末残高	767,955	486,455	486,455	96,342	1,499,500	1,634,849	3,230,691

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△17,642	4,090,546	21,541	21,541	4,112,088
当期変動額					
剰余金の配当		△58,907			△58,907
当期純利益		435,819			435,819
自己株式の取得	△179	△179			△179
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△13,467	△13,467	△13,467
当期変動額合計	△179	376,732	△13,467	△13,467	363,265
当期末残高	△17,822	4,467,279	8,074	8,074	4,475,353

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	358,221	663,722
減価償却費	2,617,861	2,570,820
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92	4,632
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,196	1,153
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,006	11,372
受取利息及び受取配当金	△4,880	△4,987
支払利息	34,388	33,475
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,858	5,527
固定資産除却損	105,001	94,597
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,400
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,190	10,533
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,263	3,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,348	△93,509
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減少)	38,709	72,917
その他	32,494	54,966
小計	3,135,282	3,427,077
利息及び配当金の受取額	4,878	4,988
利息の支払額	△33,967	△33,226
法人税等の支払額	△96,116	△156,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,010,077	3,242,087
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△148,907	△148,000
定期預金の払戻による収入	148,906	148,000
投資有価証券の取得による支出	△1,140	△1,153
有形固定資産の取得による支出	△2,735,282	△2,371,108
有形固定資産の売却による収入	—	1,400
無形固定資産の取得による支出	△1,232	△532
その他	△8,455	△6,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,746,111	△2,377,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,410,000	9,410,000
短期借入金の返済による支出	△8,410,000	△9,410,000
長期借入れによる収入	1,400,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,311,830	△1,266,204
割賦債務の返済による支出	△306,529	△368,402
配当金の支払額	△58,908	△58,907
自己株式の増減額 (△は増加)	△27	△179
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,295	△693,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,329	170,701
現金及び現金同等物の期首残高	431,388	418,059
現金及び現金同等物の期末残高	418,059	588,761

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、パレットレンタル事業を主たる業務としております。販売及びその他収入(利用運送事業及び付帯事業に伴う収入)については、レンタル事業に付随して行われているのみであり、不可分の販売形態の単一セグメントであり、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,886円41銭	5,318円43銭
1株当たり当期純利益	266円89銭	517円89銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株に併合いたしました。これに伴い、「1株当たり当期純資産額」及び「1株当たり当期純利益」は前事業年度の期首に当該株主併合が行われたと仮定し、算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	224,604	435,819
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	224,604	435,819
期中平均株式数(千株)	842	842

(重要な後発事象)

該当事項はありません。